

各位

会 社 名 株 式 会 社 木 本 和 伸
 (略称 K I M O T O)
 (U R L <https://www.kimoto.co.jp/>)
 代表者名 代表取締役会長兼社長 木本 和伸
 (コード番号 7 9 0 8 東証第一部)
 問合せ先 取締役 管理本部長 山田 資子
 (T E L 0 5 0 - 3 1 5 4 - 9 0 0 0)

通期業績予想（連結・個別）と実績値との差異に関するお知らせ

2020 年 10 月 30 日に公表した業績予想と実績値に差異が発生しましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想との差異について

2021 年 3 月期通期連結業績予想との差異（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,100	20	10	△50	△1.04
実 績（B）	11,557	402	525	492	10.31
増減額（B－A）	457	382	515	542	
増 減 率（％）	4.1	1,912.7	5,158.1	—	
（ご参考）前期実績 （2020 年 3 月期）	12,019	△77	△52	△821	△16.83

2021 年 3 月期通期個別業績予想との差異（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,500	140	80	1.66
実 績（B）	10,862	588	553	11.58
増減額（B－A）	362	448	473	
増 減 率（％）	3.5	320.2	591.8	
（ご参考）前期実績 （2020 年 3 月期）	11,176	121	△741	△15.18

差異の理由

新型コロナウイルス感染症の影響により受注量が減少しておりました主要取引先の事業活動が徐々に回復傾向となり、連結、個別ともに売上高は予想通り推移しました。利益面においては、主にIoT関連製品向け高付加価値製品の売上増加及び生産体制の効率化に伴う原価の低減、そしてコロナ禍に対応した新たな働き方を実施した結果、販売管理費が抑制されたことにより、経常利益が改善したことで前回発表予想と差異が生じました。

以上